

町内における防災担当者研修会
第1回防災士フォローアップ研修

自主防災組織の体制 及び活動について

特定非営利活動法人 トライネット
防災コーディネーター 渡邊 浩二

302

99.4%

自主防災組織いつから？



- **昭和34年9月26日「伊勢湾台風」上陸**
⇒日本史上最悪台風災害
- **昭和36年「災害対策基本法」成立**
(防災基本計画)
⇒初めて「自主防災組織」という言葉が使われている
- **昭和48年5月「自主防災組織の手引き」**
⇒初版となる「自主防災組織の手引き」策定

自治体などの公的機関にも限度がある

自助

自分でできることは
可能な限り自分で！

- ・家具の転倒防止
- ・非常持ち出しバッグの準備
- ・避難場所や経路の確認

公助

可能な限り、支援します！

- ・日頃から名簿をはじめとした防災に関する情報の共有、提供
- ・情報収集、伝達体制の整備
- ・災害時の救助活動や支援物資の提供

共助

地域で助け合いましょう！

- ・地域の防災訓練へ参加
- ・日頃からご近所の方とお付き合い、見守り活動
- ・災害時の避難誘導や避難者の支援

**防災は行政の仕事ではなく
官民一体となった防災対策**


自主防災組織とは

災害直後の混乱を
住民の連携で乗り切り
みんなで助け合い
命とまちを守るための力

普段の活動


災害時の活動

情報班

情報収集伝達
広報活動 


状況把握
報告活動 

消火班

器具点検
防火広報 

初期消火
出火防止 

避難誘導班

避難路(所)
標識点検 


避難誘導 


救出救護班

資機材調達
整備 


救出
救護活動 

給食給水班

器具の点検 

水・食料の配分
炊き出し 

衛生班

トイレ・ごみ処理
対策検討 

防疫対策 

平常時の活動例

- **防災に対する心構えの啓発**
例：研修会や講座への参加など
- **災害発生の未然防止のための地域活動**
例：地域の巡回など
- **災害発生に備えて地域を知るための活動**
例：避難場所の把握など
- **災害発生時の活動を習得するための活動**
例：初期消火、避難訓練など
- **災害発生時の活動に備えるための活動**
例：機材や備蓄品の点検など

災害時の活動例

- **情報収集伝達活動**

例：救援情報の伝達など

- **初期消火活動**

例：消火器による消火活動など

- **避難誘導活動**

例：要配慮者への安否確認や介護が必要な人への支援など

- **救出救護活動**

例：負傷者の救護など

- **給食給水活動**

例：炊き出しや救援物資の分配、運搬など

自治体などの公的機関にも限度がある

自助

自分でできることは
可能な限り自分で！

- ・家具の転倒防止
- ・非常持ち出しバッグの準備
- ・避難場所や経路の確認

公助

可能な限り、支援します！

- ・日頃から名簿をはじめとした防災に関する情報の共有、提供
- ・情報収集、伝達体制の整備
- ・災害時の救助活動や支援物資の提供

共助

地域で助け合いましょう！

- ・地域の防災訓練へ参加
- ・日頃からご近所の方とお付き合い、見守り活動
- ・災害時の避難誘導や避難者の支援

自助について（防災士の活動・啓発）

生きのこる防災（平時）

- 住宅の耐震化や耐震診断
- 家具家電等の固定や配置
- 防災家族会議
- ハザードマップ等の確認
- 避難所、避難場所の確認
- 連絡手段の確認
- 防災訓練参加・・・など

生きのびる防災（発災時）

- 避難行動
- 非常持出品
- 備蓄（3日～1週間）
- 避難所運営・・・など

共助について（自主防災組織の活動・啓発）

生きのこる防災（平時）

- 防災の仲間づくり
- 防災知識の普及・啓発
- 危険個所等の把握
- 防災訓練
- 防災資機材等の備蓄・作動確認
- 避難行動要支援者対応・・・など

生きのびる防災（発災時）

- 安否確認
- 情報収集
- 避難誘導
- 初期消火
- 救出救護
- 避難所運営・・・など

自主防災組織を機能させる

- ① 防災の仲間づくり
- ② 防災知識の普及・啓発
- ③ 危険個所等の把握⇒防災マップづくり
- ④ 防災訓練・避難訓練
- ⑤ 防災資機材等の備蓄、作動確認
- ⑥ 避難行動要支援者への支援体制

①防災の仲間づくり

1人のリーダーだけで行なっていくのは事実上不可能

⇒青年会、子ども会、敬老会、民生員、食推、健推

⇒元市職、元消防士、元看護師、元教員、元保育士

防災知識や技術を持った防災士・・・など

⇒防災に関心のある人

②防災知識の普及・啓発

- 1人でも多くの方に関心を持ってもらうこと

- 地域における災害リスクを知る

 - ⇒過去の災害から学ぶ（教訓など）

 - ⇒日頃から役立つ知識や技術

 - ⇒季節に応じた災害対策（梅雨時期前＝水害など）

③危険箇所等の把握⇒防災マップづくり

- **安全な場所や危険箇所を知り的確な行動に結びつける**
 - ⇒避難場所、避難所
 - ⇒ハザードマップ
 - ⇒防災倉庫の場所や保管物の確認・周知
 - ⇒河川、用水路
 - ⇒AED
 - ⇒公衆電話

④防災訓練・避難訓練

- ・災害が発生したときの適切な対処をする
- ・正しい知識と技術の習得をし行動に移す
 - ⇒安否確認訓練
 - ⇒情報収集・伝達訓練
 - ⇒初期消火訓練
 - ⇒救出救護訓練
 - ⇒避難誘導訓練
 - ⇒炊き出し訓練

⑤防災資機材等の備蓄・作動確認

- 地域に応じて必要なものを十分に検討する

- ⇒消火器

- ⇒防火バケツ

- ⇒防火用水（小型動力ポンプ）

- ⇒バール、ノコギリ、斧、ハンマー、スコップ、ジャッキ
ブルーシート、ロープなど

- ⇒食料品、鍋、釜、水、燃料など

- ⇒井戸、消火用水の場所

- ⇒発電機

⑥ 避難行動要支援者対応

- 誰が誰をどのように支援するか事前に決めておく
- 誰が付き添って、どのようなルートで、どこに避難するのか等の計画を定める

災害時の活動と状況報告を見据えた訓練

① 安否確認

② 情報収集・伝達

③ 被害状況報告

④ 初期消火

⑤ 救出救護

⑥ 避難誘導

⑦ 避難所運営

環境省の「人とペットの災害対策ガイドライン」の要点

・ペットを連れて避難する(同行避難)

・避難所で飼い主と同室で飼えるとは限らない



飼い主が気をつけること

普段から

- ・ケージに慣れさせるなどペットのしつけ
- ・ペットフードや水の備蓄（できれば7日以上）
- ・ペットを連れて避難訓練に参加

災害時

- ・避難所のルールに従って世話をし、飼い主同士で協力する
- ・動物アレルギーや、動物が苦手な人に配慮



柏崎市内における 『好事例』

かしわざき地域防災交流会

【2017年9月24日開催】

～発表者～

- ・ 北条小学校 校長
- ・ 大田地区コミュニティ振興協議会 センター長
- ・ 関町町内会自主防災会 会長
- ・ 柏崎市消防団女性消防隊 隊長

関町町内会自主防災会「…ながら防災」 『枇杷島地区大運動会』

関町ならではの、平時（ふだん）の行事の中で意識した『…ながら防災』を実施します。

身近な、ふだんの、活動を通して、万一を想定した訓練の積み重ねが「次への備え」となり、災害に強いまちづくりに繋がっていくことを狙いとしている。

今回の訓練は…

- ①炊き出し訓練（大釜を使用）
- ②用具運搬訓練（リヤカーを使用）
- ③避難所（応援席）設営訓練
⇒テント張り・ブルーシート張り

かしわざき地域防災交流会

【2018年9月15日開催】

～発表者～

- ・ 松波町内会 副会長
- ・ 新田畑町内会 会長
- ・ 剣野コミュニティ振興協議会
- ・ 西山中学校 校長

新田畑町内会

地震を知らない子どもたちへ災害の「自助」「共助」の意識付けを行うために「防災学習会」を実施

①防災出前講座を活用

⇒中越沖地震の様子や心構えを学習

⇒ロープワーク、パッククッキングを実施

②中越沖地震メモリアルまちからを見学

⇒中越沖地震時における当時の状況を学ぶ

かしわざき地域防災交流会

【2019年9月8日開催】

～発表者～

- ・ 北鯖石コミュニティ振興協議会 センター長
- ・ 北園町町内会 会長
- ・ 第五中学校 校長

北園町町内会

- **自主防災組織の各班長に防災士を配置**
- 柏崎警察署協力のもと防犯・防災まち歩き（マップづくり）
- **北園町在住の中学生を対象に「普通救命講習1」**を9年前から実施
 - ⇒第一中学校、翔洋中等部
- 災害協定締結
 - ⇒ウオロク桜木町店、栄町など

かしわざき地域防災交流会

【2020年9月12日開催】

～発表者～

- ・ 常盤町町内会 会長
- ・ 山崎Aたすけあいネットワーク 代表

柏崎市市民一斉地震対応訓練 7/16(木)

7. 16 あの日を忘れない…
かしわざき
市民一斉地震対応訓練

柏崎市内で大地震が発生した想定で、「自分の身を守る」「家族の身を守る」ための地震対応訓練を行います。



令和2(2020)年7月16日(木)午前10時00分開始

地震の揺れから身を守るための安全行動訓練(シェイクアウト訓練)を全市一斉に実施します。防災行政無線での放送を合図に、3つの安全確保行動(①まず姿勢を低くし、②頭を守り、③揺れがおさまるまで動かない)を、今いる場所でそれぞれが行う約1分間の訓練です。

訓練は3つの安全行動を“その場”で行うだけ



イラスト提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

主催 柏崎市防災会議
事務局: 柏崎市防災・原子力課 〒945-8511 柏崎市中央町5-50
TEL:0257-21-2316 FAX: 0257-21-5980 Eメール:bosai@city.kashiwazaki.lg.jp

自分の身は自分で
守る(自助)



班→隣組で助け合う
(自助～共助へ)

山崎Aたすけあいネットワーク

NO. 班21-005

回 覧	山崎Aたすけあいネットワーク たすけあい情報 NO.9	令和3年 11月5日 発行責任者 金子一彦 電話 22-3533
--------	--------------------------------	---

各地から紅葉の便りが届いていますが、暦の上では間もなく立冬を迎えます。11月は防災ボランティア活動にご理解と、ご協力をいただき有難うございます。コロナ感染状況が落ち着いてきましたが朝晩は寒くなりました。ご自愛下さい。

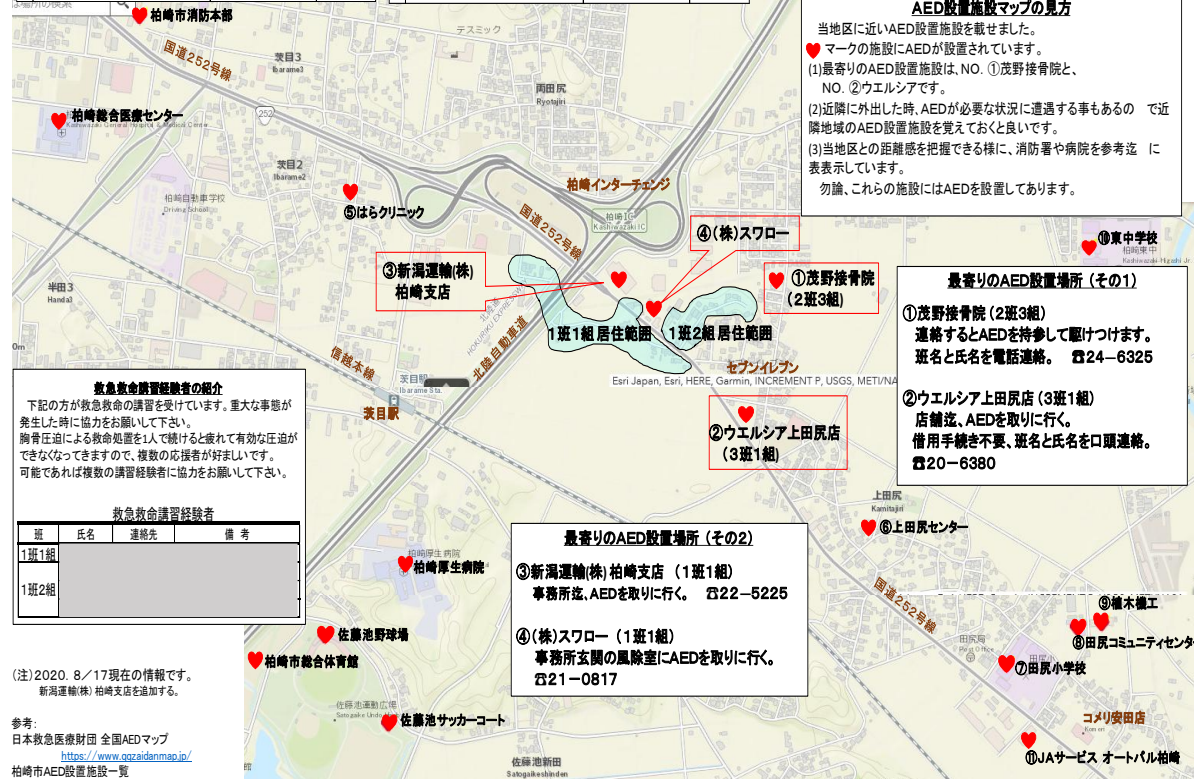


AED設置マップのサンプル

山崎地区近隣のAED設置施設マップ（発行 山崎Aたすけあいネットワーク）

2020.08/17
NO. MP-003

施設名	設置場所	電話番号	施設名	設置場所	電話番号
① 茂野接骨院(上田尻2班3組)	院内	24-6325	⑨ 榎木機工	1F休憩室	23-5194
② ウエルシア 上田尻店	店内	20-6380	⑩ 東中学校	1F体育館	24-2247
③ 新潟運輸(株) 柏崎支店	事務所内	22-5225	⑪ (株)ジュエイサービス オートハル柏崎	事務所	22-8888
④ (株)スワロー	玄関風除室	21-0817	柏崎厚生病院	1F 外来	22-0111
⑤ はらクリニック	処置室	28-1600	柏崎市消防本部	1Fフロア	24-1500
⑥ 上田尻センター	1F正面壁	-	安田保育園	遊戯室	22-3071
⑦ 田尻小学校	1F体育館開放玄関	22-4315	佐藤池野球場、佐藤池サッカーコート	玄関ホール/クラブハウス	23-8311
⑧ 田尻コミュニティセンター	2階廊下	22-4301	総合体育館	受付横	21-3751



名前入りベストを買いました

前号の総会報告でお知らせした名前入りベストを2着、9月に購入しました。災害時に高齢者世帯の代理で避難所の炊き出しや支援物資を人数分受取る際に普通の格好では周囲の避難者から個人的な欲張り行為に映りかねません。名前入りベストを着れば団体活動を訴えるツールになり、スムーズな受取り作業を期待します。本会の財源状況から購入見合わせの意見もありましたが、こうした誤解を避けたいので購入を決断しました。昨年参加した地域防災交流会の謝礼金を有効に使えました。いずれメンバー全員のベストを

たいと思いますが長期計画とします。災害時の代理受取り担当は、状況下で可能な会員に依頼します。折角の活動ツールなので地域内巡回などの機会にも着用します。ベストは蛍光黄色地で背中・文字と2本の横ラインは暗闇で光が当たると白色になります。



会員による試験的な避難体験会は延期します

市から無償配布の備蓄食品を利用し、本会会員だけで試験的な事前避難体験会を10~11月頃の実施を予定していましたが、日程調整が困難なことから、コロナ感染状況が落ち着いてきましたが、まだ食事を伴う活動は慎重な判断が必要なので今年中の実施を見合わせました。

来年のコロナ感染状況をみて再度計画します。住民参加の避難体験会はコロナ感染状況次第で親睦会を兼ね、来年5月頃に行う予定です。休日をねらった日程になるので困難と思いますが、緊急支援ネットワークご参加の企業さんにも声を掛けてみたいと思います。

無償配布を受けた備蓄食品の詳細情報

前号広報でお知らせしましたが、市が保有している備蓄食品の内、消費期限が1年ほどの食品を防災・原子力課から無償配布を受けました。もっと詳細を聞きたいと要望が有りましたので概要をお知らせします。当面は災害時の非常食として保管し、来年に避難体験会を行い、皆さんから味わっていただきます。
①備蓄用アルファ米
・水やお湯を加えるだけで食べられる非常食。
・1箱4袋詰めで50食。2箱で100食あります。
・消費期限 2022年5月末まで

・1袋は12~13人分の大容量となっています。ご存じの方も多いと思いますが、水やお湯で戻しただけのアルファ米は美味くないそうです。おにぎりの素などの具材を加えるなら食べやすいと、試食体験者の半田町内会長の情報を参考に試行錯誤を進めるところです。
②さんまの味噌煮
・1箱が160g 缶X24 缶詰め、2箱で48缶です。
・消費期限 2022年12月27日まで
以上、合計で約44,000円相当の備蓄用食品です。

防災・原子力課への要望事項

活動の一環として防災・原子力課担当者と同様、以下を要望しています。
①災害時、避難所での炊き出し配給について
中越沖地震の時、避難所で実施の炊き出しは避難所滞在者の人数で準備していた為、自宅避難者が近所の高齢者の分も希望したが貰えなかった。本会では高齢者世帯に代り、炊き出しの代理受け取りの仕組みを設けたが、これでは高齢者世帯に届けられない。今はコロナ感染の不安から災害時でも避難所を避けて自宅避難を選ぶ事も想定され、炊き出し配給の改善検討をお願いした。

②消費期限間近の備蓄食品無償配布について
毎年、災害時の備蓄食品の内、消費期限間近の食品を町内会等の団体に先着順で無償配布している。先着順の申込みは、一見公平なシステムに見えるが希望しても配布を受けられない団体が多くあると聞く。更に多くの団体が公平に受けられる運用に改善したいと代案を提案し検討をお願いした。

ご不明な点、ご意見は金子までお寄せ下さい



かしわざき地域防災交流会

【2021年11月7日開催】

～発表者～

- ・ 半田町内会 会長
- ・ 門出町内会 会長

かしわざき地域防災交流会2022

活動事例発表者

比角コミュニティ運営協議会

田村 光一氏

『机上だけではない
訓練を通して見えてきたこと』

机上だけでなく、実際の訓練を通して分かったことや、くり返し訓練に参加している方々の声を活かした防災を目指します。

参加者交流会

活動事例発表地域の取り組みを題材に、参加者同士で意見を交換するワークショップを行います。今後の防災活動や訓練、地域づくりのきっかけとなるよう交流を深めましょう。

【令和2年度】

- ・地域活動サポートセンター柏崎による防災講習会：**日頃からの防災対策**
- ・**比角小学校児童引き渡し訓練終了後、避難所開設・運営訓練**

【令和3年度】

- ・地域活動サポートセンター柏崎による防災講習会：**避難所運営ワークショップ**
- ・令和3年度 比角コミセン**避難所開設・運営訓練**

【令和4年度】

- ・地域活動サポートセンター柏崎による**防災講習会**
- ・避難所開設・運営訓練（4会場同時訓練）
 - ①比角コミュニティセンター
 - ②比角小学校
 - ③第二中学校
 - ④ワークプラザ

【令和5年度】

- ・令和4年度同様、4会場同時訓練

自分たちの地域を知る！

- ・自分たちのまちに、どのような災害が発生するのか？
- ・自分たちのまちにどのような被害が出るのか？
- ・危険箇所は？避難行動要支援者はどこか？
- ・その時に必要になること、ものは？
- ・何を準備しておけばよいか？

向こう三軒両隣の関係

「特別なことをしない」

「顔の見える関係」

大切なこと

災害に備えて物を備蓄することは大切！

災害に備えて知識を習得することは大切！

「その日、その時」がきたら

ちゃんと避難する

慌てずに行動する

命を守る想像力！

災害によってどのようなことが起きるかを

日頃から想像しておく！